



鹿中だより

鹿ノ台中学校

校長 三村明弘

平成 30 年 5 月 17 日

修学旅行行ってきました！

❖ 感動の沖縄修学旅行！ ～ 一生の宝物 ～

中学校生活で最大のイベントである修学旅行が大きな感動のうち無事終了しました。誰一人として遅刻することなく、感動の 3 日間の物語はスタートしました。出発式で「全員健康に行って、健康で帰ってきましょう」「すべての人への感謝の気持ちを忘れないください」と話しました。お腹や足を少し痛めた人はいましたが、すぐに元気になり完璧に完全に達成できました。(全員が元気。ほんとうに凄い!) 一日目に泊まったホテルでもお世話になったからと、お礼状を書いて置いて来てくれたなんとも心の美しい女子もいたそうです。(もし私がホテルの支配人なら泣いて喜ぶでしょう) 出発当日、沖縄は梅雨入り宣言。3年生の先生たちは数日前から天気予報とにらめっこの毎日。残念ながら予報では3日間とも曇りのち雨。(悪いこと何もしていないのにと天気予報を睨みに睨む)

しかし奇跡はおきました! 1日目の午後だけ雨が降りましたが、以後は快晴! 青い空と青い海! これぞ沖縄! お天気の神様はみんなのことをしっかり見てくれていたのですね。

みんなで平和についてしっかり考えました

こんなにきれいな場所で・・・73年前、90日間におよぶ一般住民までも巻き込んだ戦闘は、文化財を破壊し、地形を変化させ、20 数万人の尊い命を奪いました。砲弾で吹き飛ばし、追い詰め火炎放射で焼き殺し、また自らの命まで絶たされました。平和祈念資料館の前から見えるきれいな空ときれいな海を眺めながら、深い悲しみと虚しさと怒りを感じざるを得ませんでした。平和の礎での力強い『平和宣言』を心に刻み、二度とこのような凄惨な悲劇を繰り返すことのないことをみんなで強く心に誓いました。

雨が降り出した中、入壕体験に向かいました。壕は「下の壕」とよばれている壕で、「白梅之塔」(高等女学校の 56 人で編成された白梅学徒看護隊及び教職員・同窓生の鎮魂と世界の恒久平和を祈念して建立)の横にありました。ガイドさんの話をみんなしっかりと聞き、ひとり一人が多くのことを感じ取ってくれたことと思います。



【生徒代表 平和宣言】

平和宣言。僕たちは昨年、沖縄戦について学習しました。そこで学んだのは、火炎放射器で焼き払われていく豊かな自然、手りゅう弾を投げ込まれ爆発するがま、そして二十数万の命が犠牲になった地上戦。今の沖縄からはとても想像できません。あの悲劇を二度と繰り返すことのないように、命の大切さを忘れずに、行動を起こさなければなりません。僕たちはここ沖縄の地で、世界平和についてひとり一人が当事者であることを自覚し、平和を願い、求め、その実現に向けて尽力することを宣言します。

ホテルに着き夕食後は、修学旅行実行委員会のみんなが計画してくれたレクリエーションです。趣向を凝らした、たくさんのゲームや実行委員さんの余興など全員の顔が笑顔に つつまれました。しおり作りからレクリエーションまで、実行委員のみなさん本当にありがとうございました。



マリン体験・民泊体験

昨日とはうってかわって快晴！これぞ沖縄！格好よくウエットスーツを身にまとい、シュノーケリング・バナナボート・海水浴と沖縄のきれいな海を満喫しました。本当に笑顔満開の生徒たちの顔を見ながら、あまりにも多くの犠牲者を出した沖縄で、今がこんなに平和であることのありがたさと素晴らしさを今日も考えていました。

午後からは民泊体験です。うるまのアンマーやスーに迎えられ、ほとんどの人にとって一生のうち最初で最後かもしれない貴重な体験です。沖縄料理を作ったり、三線やエイサーを体験させてもらったようです。どこの家庭でも海の幸、山の幸の心のこもった料理に苦手だった魚や野菜をおいしくいただいた人もたくさんいたようです。温かくたくましく生きるうるまの方々に会い、みんなの世界観が広がり一回りも二回りも成長してくれたと思います。3年の先生たちもみんなの姿を見たくて全部の民家を訪ねてくれました。宿泊しているホテルに帰って来られたのが 21 時を過ぎていました。でも元気に頑張ってくれているみんなの姿を見ることができた喜びで先生たちの顔も元気一杯でした。

三日目の朝、離村式では、ひとり一人が握手で別れ、涙をぬぐう姿も見受けられました。その後は、県庁前からスターバックスまで**奇跡の1マイル** (1,6km) での班活動です。お土産をいっぱい買い、昼ご飯を食べ、バスで空港に向かいましたが、最後の最後まで元気でした。お土産も大事ですが、家に帰りいろんな体験談・お土産話ができたでしょうか。

本当に何から何まで、とても素晴らしい修学旅行でした。

感謝、感謝です。

〈校外学習〉

1年生の校外学習は環境と科学について「京エコロジーセンター」と「青少年科学センター」へ行き、地球温暖化や環境についてしっかり学習してきました。

2年生は京都班別活動で、古都京都の歴史や文化を計画通り元気に学習してくれました。全学年とも自分のことだけではなく全体のことを考え、ルールを守り、先生たちに大きな心配をかけることなく、無事終了しました。当たり前のように当たり前でないことの**素晴らしさをひとり一人のプライドに、そして鹿中のプライドに**してほしいと願っています。